

地球観測プラットフォーム技術衛星の

追跡管制状況について（その5）

（速報）

平成8年10月30日

宇宙開発事業団

## 1. はじめに

10月8日以降の地球観測プラットフォーム技術衛星（ADEOS）の追跡管制状況および初期機能確認状況を報告する。

## 2. 概要

衛星間通信サブシステム（IOCS）および温室効果気体観測センサ（IMG）の機能確認をもって各センサ等の機能確認をすべて終了した。

引き続き、衛星が熱的、電力的に最大負荷となる運用モードを搭載計算機（OBC）により設定する総合運用試験1を実施した。

また、宇宙線などによるOBCメモリーのビットエラーによる誤動作防止機能の改善のため、OBCプログラムの書き換えを実施した。現在、衛星は正常に動作している。

## 3. バス機器の状況

10月7日から8日にかけて軌道間通信系（IOCS）の機能確認を終了し、通信系コンポーネント及びプログラム追尾機能が正常であることを確認した。

## 4. ミッション機器の状況

各センサとも正常に動作している。

なお、10月1日に取得したOCTSの赤外バンド画像は解析、処理を行い、10月9日に初画像として記者発表した。

通商産業省開発の、温室効果気体観測センサ（IMG）については、10月10日に機能確認を終了し問題ないことを確認した。

なお、初観測データの解析、処理結果については10月24日通商産業省と連名で同時記者発表した。

## 5. その他

3台搭載しているミッションデータレコーダ（MDR）の1台について、再生データに一部ビット化けが生じる現象が発生したが、MDRのテープの弛み等を取り除くための早送り、巻き戻し（リスタッキング）を実施し、記録再生したところ、ビット化けがなく問題ないことを確認した。

OBCによる自動化、自律化運用機能確認（総合運用試験1）を10月14日から18日まで実施し問題ないことを確認した。

また、OBCメモリーのビットエラーによる誤動作防止機能の改善のため、OBCプログラムの書き換えを10月24日までに問題なく終了した。

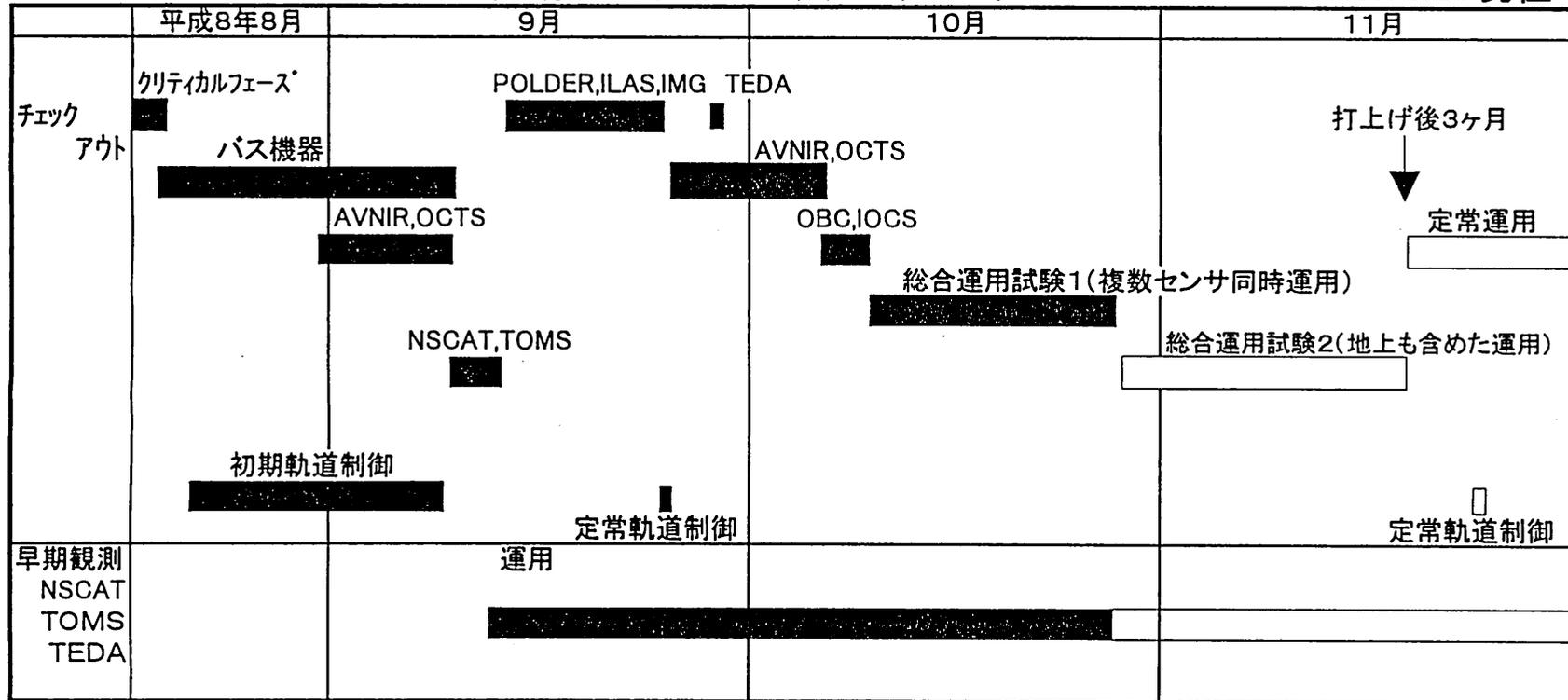
#### 6. 今後の予定等

NASA散乱計（NSCAT）、オゾン全量分光計（TOMS）、技術データ取得装置（TEDA）については引き続き早期観測を継続する。

10月下旬から、地上系を含めた全運用システムの確認を目的とした総合運用試験2を予定している。（別添スケジュール表を参照）

# ADEOS初期運用及びチェックアウトスケジュール

H8.10.29現在



OCTS :海色海温走査放射計  
 AVNIR :高性能可視近赤外放射計  
 NSCAT :NASA散乱計  
 TOMS :オゾン全量分光計  
 POLDER:地表反射光観測装置

ILAS:改良型大気周縁観測装置  
 IMG :温室効果気体観測センサ  
 OBC :搭載コンピュータ  
 IOCS:衛星間通信サブシステム